

## 2015年第1四半期 連結決算概要 (IFRS)

中外製薬株式会社  
執行役員 財務経理部長  
板垣 利明

2015.4.22



## 将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注: 本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示  
増減、%は億円単位で表示された数字で計算



## 2015年第1四半期 連結決算概要

### ■ 売上収益 1,171億円(前年同期比 ▲69億円,▲5.6%)

- 国内製商品(タミフルを除く): 前年の消費増税前の一時的な需要増の影響を除くと堅調に推移(同 ▲13億円,▲1.5%)
- 海外製商品: 円安影響及びアクテムラ輸出増により増加(同 +7億円,+3.2%)
- ロイヤルティ及びその他の営業収入: 前年のマイルストーン収入等計上の影響(同 ▲61億円,▲62.2%)

### ■ 原価・経費(Coreベース)

- 売上原価: 円安等を主要因とし製商品原価率が悪化(+2.2%ポイント:48.4%→50.6%)
- 経費: 研究開発費および一般管理費等を中心に経費全体で9億円,2.4%の増加

### ■ 損益

- IFRS実績:

営業利益	207億円(同 ▲104億円,▲33.4%)
四半期利益	148億円(同 ▲43億円,▲22.5%)
- Core実績:

営業利益	215億円(同 ▲99億円,▲31.5%)
EPS	27.54円(同 ▲7.28円,▲20.9%)

## 2015年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



## IFRS実績及びCore実績 1-3月実績

【億円】	IFRS実績	Non-Core調整		Core実績
	2015年 1-3月	無形資産・ 合併会計	その他の 除外事項	2015年 1-3月
売上収益	1,171			1,171
製商品売上高	1,134			1,134
ロイヤルティ及び その他の営業収入	37			37
売上原価	▲ 577	+3		▲ 574
売上総利益	593	+3		597
経費計	▲ 386	+4	+1	▲ 382
販売費	▲ 166	+0		▲ 166
研究開発費	▲ 190	+3		▲ 186
一般管理費等	▲ 30		+1	▲ 30
営業利益	207	+7	+1	215
金融費用	▲ 0			▲ 0
その他の金融収入(支出)	5			5
税引前四半期利益	212	+7	+1	219
法人所得税	▲ 64	▲ 2	▲ 0	▲ 66
四半期利益	148	+4	+0	153
当社の株主持分	146	+4	+0	151
非支配持分	2			2

## Non-Core 調整

## 1. 無形資産・合併会計

無形資産の償却費 : +4億円  
 無形資産の減損損失 : +3億円  
 合併会計 : 該当なし

## 2. その他の除外事項

環境対策費用 : +1億円

## Core四半期利益の帰属

当社の株主持分 151 億円 ①

## 希薄化効果後

加重平均普通株式数 547 百万株 ②

Core EPS 27.54 円 ①/②

前年同期比 Core

2015年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



## 損益の概要 1-3月実績

【億円】	2014年1-3月		2015年1-3月		増減	
	対売上収益		対売上収益			
売上収益	1,240		1,171		▲69	▲5.6%
製商品売上高	1,142		1,134		▲8	▲0.7%
タミフルを除く	1,073		1,067		▲6	▲0.6%
国内	852		839		▲13	▲1.5%
ロシュ向け輸出	169		180		+11	+6.5%
その他海外	52		48		▲4	▲7.7%
タミフル	69		67		▲2	▲2.9%
通常	68		67		▲1	▲1.5%
行政備蓄等	1		0		▲1	▲100.0%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	98		37		▲61	▲62.2%
売上原価	▲ 553	44.6%	▲ 574	49.0%	▲21	+3.8%
売上総利益	688	55.5%	597	51.0%	▲91	▲13.2%
経費計	▲ 373	30.1%	▲ 382	32.6%	▲9	+2.4%
営業利益	314	25.3%	215	18.4%	▲99	▲31.5%
金融費用	▲ 0		▲ 0		0	0.0%
その他の金融収入(支出)	2		5		+3	+150.0%
法人所得税	▲ 123		▲ 66		+57	▲46.3%
四半期利益	193	15.6%	153	13.1%	▲40	▲20.7%
EPS（円）	34.82		27.54		▲7.28	▲20.9%

### 【主な増減】

ロイヤルティ及びその他の営業収入  
▲61億円  
マイルストーン収入の減少等

その他の金融収入(支出) +3億円  
為替差損益 ▲10億円  
デリバティブ(為替予約)損益 +14億円

### 製商品原価率

2014年1-3月	2015年1-3月
48.4%	50.6%

### 期中平均レート(円)

	2014年 1-3月	2015年 1-3月
CHF	115.17	124.98
EUR	140.90	134.38
USD	102.81	119.15
SGD	81.03	87.88

前年同期比

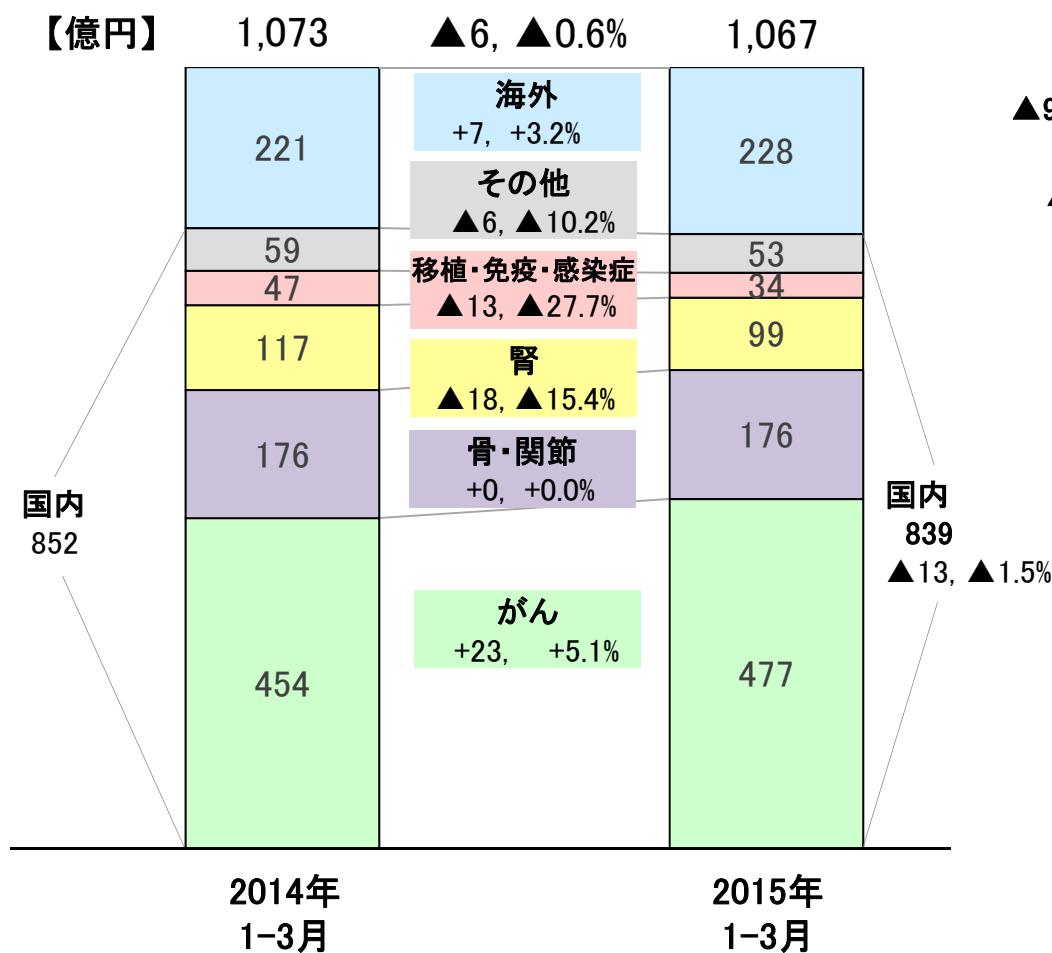
2015年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために

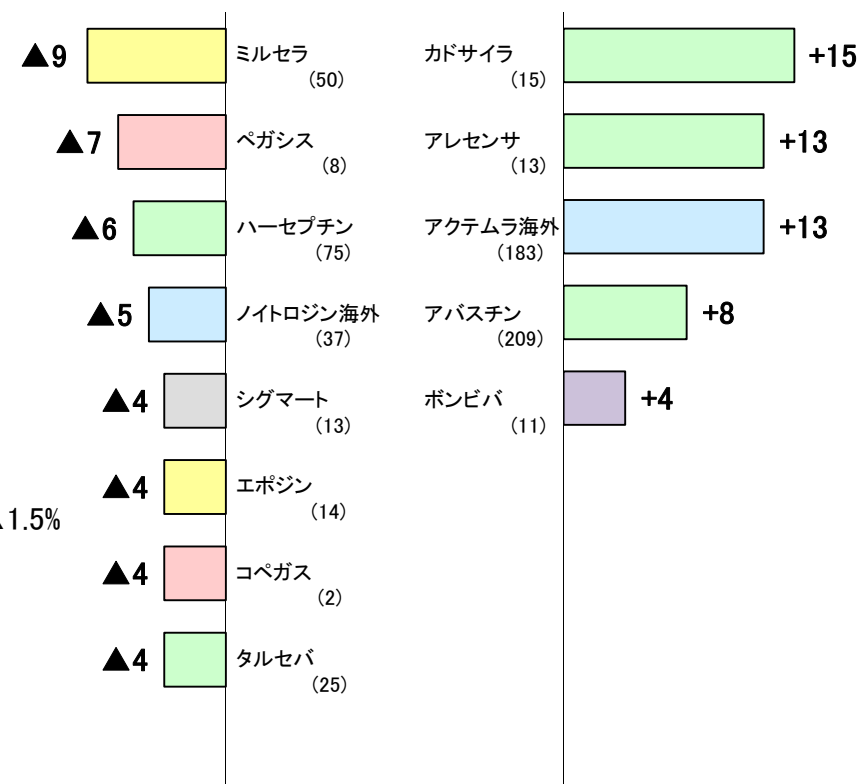


# 製商品売上高(タミフルを除く)の増減内訳 1-3月実績

領域別売上高の比較



主な製商品売上高の増減



( )内は2015年実績

## 2015年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

## タミフルの売上状況

【億円】		決算期売上													予想		シーズン 売上	定 点 観 測 数 (百万人)
		2009年12月期		2010年12月期		2011年12月期		2012年12月期		2013年12月期		2014年12月期		2015年12月期				
		1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-3月	4-12月			
通常	2008-09	110														167	1.27	
	2009-10		252	14												266	2.02	
	2010-11				2	41										43	1.26	
	2011-12						13	78								91	1.63	
	2012-13								24	82						106	1.11	
	2013-14										19	70				90	1.44	
	2014-15											58	67		126	1.37		
	2015-16													7	-	-		
通常		362 (+291)		16 (▲346)		54 (+38)		102 (+48)		101 (▲1)		129 (+28)		74 (▲55)				

行政 備蓄等	2008-09	144														155	
	2009-10		256	106												362	
	2010-11				59	5										64	
	2011-12						28	4								32	
	2012-13								15	8						23	
	2013-14										1	1				2	
	2014-15											1	0			1	
	2015-16													-		-	
行政備蓄等		400 (+387)		166 (▲234)		33 (▲133)		19 (▲14)		9 (▲10)		2 (▲7)		0 (▲2)			

合計		254	508	120	61	46	41	81	39	90	20	71	59	67	7
		762 (+678)		182 (▲580)		87 (▲95)		120 (+33)		110 (▲10)		130 (+20)		74 (▲56)	

( )内は前期比

- 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」 10月下旬(44週)から4月中旬(16週、2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数。2014-15シーズンは、10月下旬(44週)から4月上旬(14週)を対象。

前年同期比 Core

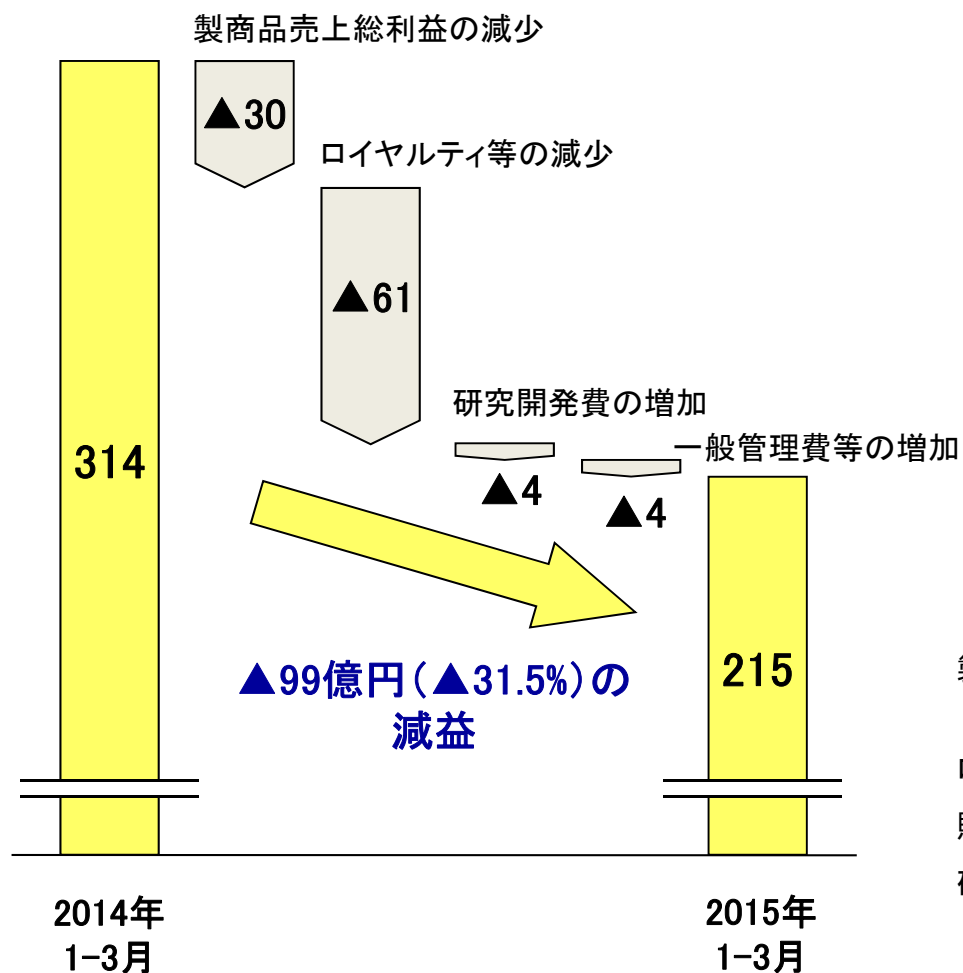
2015年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



# 営業利益の増減内訳 1-3月実績

【億円】



【億円】	2014年 1-3月	2015年 1-3月	増減
売上収益	1,240	1,171	▲69
売上原価	▲553	▲574	▲21
売上総利益	688	597	▲91
うち製商品	590	560	▲30
ロイヤルティ等	98	37	▲61
販売費	▲166	▲166	0
研究開発費	▲182	▲186	▲4
一般管理費等	▲26	▲30	▲4
営業利益	314	215	▲99

製商品売上総利益の減少	▲30億円
為替等による原価率の悪化	
ロイヤルティ及びその他の営業収入の減少	▲61億円
販売費の増減	0億円
研究開発費の増加	▲4億円
円安影響 等	
一般管理費等の増加	▲4億円
広報活動など諸経費の増加	



予想比 Core

2015年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

## 損益の進捗 1-3月実績

【億円】	実績	期初公表		2014年
	2015年 1-3月	2015年 1-12月	進捗率	進捗率*
売上収益	1,171	4,865	24.1%	26.9%
製商品売上高	1,134	4,608	24.6%	26.1%
タミフルを除く	1,067	4,534	23.5%	25.3%
国内	839	3,609	23.2%	24.4%
ロシュ向け輸出	180	747	24.1%	30.7%
その他海外	48	178	27.0%	26.9%
タミフル	67	74	90.5%	53.1%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	37	256	14.5%	40.5%
売上原価	▲ 574	▲ 2,302	24.9%	25.5%
売上総利益	597	2,563	23.3%	28.2%
経費計	▲ 382	▲ 1,713	22.3%	22.4%
営業利益	215	850	25.3%	40.6%
EPS (円)	27.54	104.42	26.4%	36.6%

\*1-3月実績の通期実績に対する進捗率

予想比 Core

2015年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

# 製商品売上高の進捗（タミフルを除く） 1-3月実績

【億円】	実績 2015年 1-3月	通期予想 2015年 1-12月	進捗率	2014年 進捗率*
タミフルを除く製商品売上高	1,067	4,534	23.5%	25.3%
国内	839	3,609	23.2%	24.4%
がん領域	477	2,045	23.3%	24.0%
アバステン	209	882	23.7%	24.4%
ハーセプチン	75	296	25.3%	26.0%
タルセバ	25	141	17.7%	25.2%
ゼローダ	26	100	26.0%	26.9%
パージェタ	23	99	23.2%	22.0%
カドサイラ	15	88	17.0%	—
アレセンサ	13	52	25.0%	—
ゼルボラフ	1	2	50.0%	—
骨・関節領域	176	759	23.2%	25.3%
アクテムラ	59	263	22.4%	24.5%
エディロール	49	212	23.1%	26.0%
ボンビバ	11	49	22.4%	20.6%
腎領域	99	443	22.3%	26.2%
ミルセラ	50	245	20.4%	26.1%
エポジン	14	52	26.9%	27.3%
移植・免疫・感染症領域	34	130	26.2%	22.6%
ペガシス	8	21	38.1%	21.4%
コペガス	2	11	18.2%	19.4%
その他の領域	53	232	22.8%	23.0%
海外	228	925	24.6%	29.7%
ロシュ向け輸出	180	747	24.1%	30.7%
その他海外	48	178	27.0%	26.9%

\*1-3月実績の通期実績に対する進捗率。ゼルボラフの予想値は4月22日公表

予想比 Core

## 為替変動の影響について

	1-3月利益影響 (期初想定レート対比)
売上収益	<b>+6億円</b>
	製商品売上高 +7億円 ロイヤルティ等 ▲1億円
売上原価・経費	売上原価 ▲2億円 経費 +1億円
営業利益	<b>+5億円</b>

実績/想定レート*	2014年 1-3月実績	期初予想 想定 (通期)	2015年 1-3月実績
1CHF	115.17円	116.00円	124.98円
1EUR	140.90円	142.00円	134.38円
1USD	102.81円	119.00円	119.15円
1SGD	81.03円	91.00円	87.88円

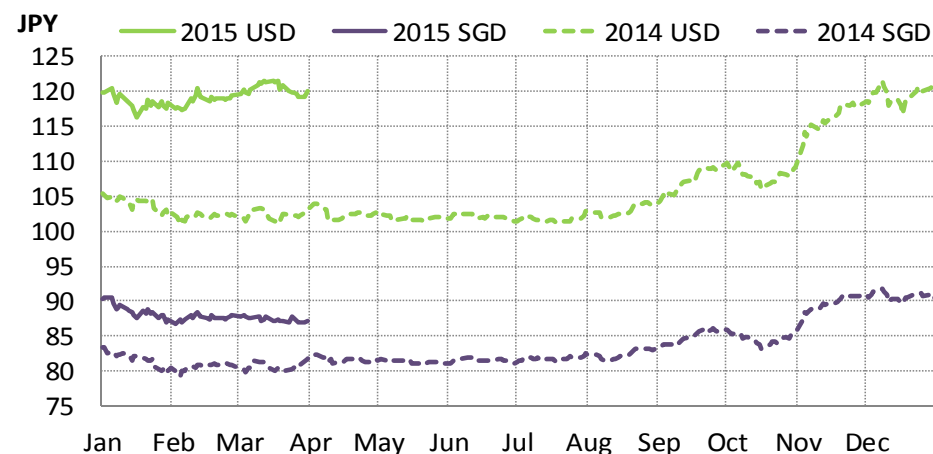
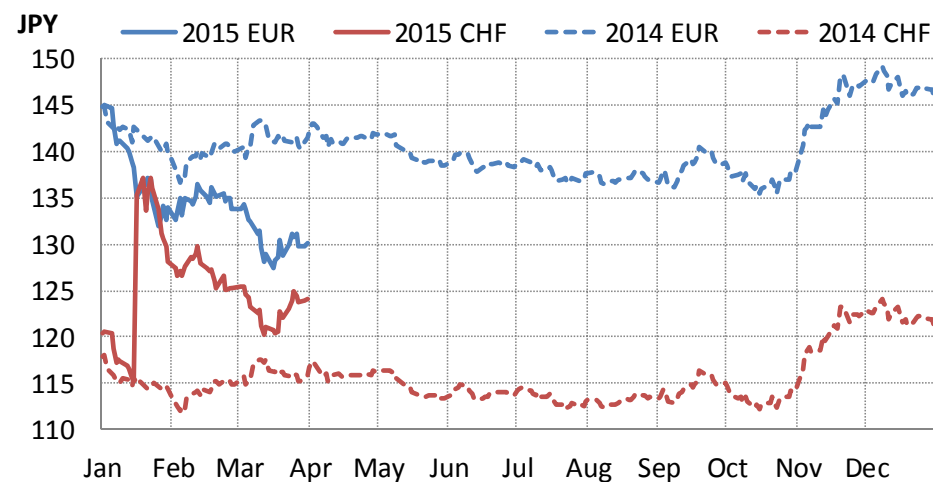
\*実績は期中市場平均

2015年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



## 【参考】為替レート推移



## 開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社  
参与 プロジェクト・ライフサイクル マネジメント副ユニット長  
R&Dポートフォリオ部長  
渡邊 稔

2015.4.22

## 開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



# オンコロジー領域 開発パイプライン(2015年4月22日現在)

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
がん	<b>CKI27 / RG7304 (国内/海外)</b> -固形がん RG7321 / pictilisib -固形がん RG7596 / polatuzumab vedotin -非ホジキンリンパ腫 RG7604 / taselisib -固形がん	RG435 / Avastin -子宮頸がん <b>GC33 / RG7686</b> -肝がん	<b>AF802 (RG7853)</b> <b>/ Alecensa (海外)</b> -非小細胞肺がん RG1273 / Perjeta -乳がん(アジュバント) -胃がん RG3502 / Kadcyla -乳がん(アジュバント) -胃がん(PII/III) GA101 (RG7159) / obinutuzumab -中高悪性度非ホジキンリンパ腫 -低悪性度非ホジキンリンパ腫 RG7446 / MPDL3280A -非小細胞肺がん -膀胱がん	RG340 / Xeloda -胃がん(アジュバント)

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています

オレンジ：自社品

★：2015/1/28からの変更点

## 開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



# プライマリー領域 開発パイプライン(2015年4月22日現在)

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
骨・関節				RG484 / Bonviva (経口) -骨粗鬆症★
自己免疫疾患		MRA / Actemra (海外) -全身性強皮症	MRA / Actemra -大型血管炎 MRA / Actemra (海外) -巨細胞性動脈炎 SA237 -視神経脊髄炎★	
中枢神経	RG1577 -アルツハイマー病 RG1662 -ダウン症者における 知的能力の改善	RG7090 / basimglurant -大うつ病	RG1450 / gantenerumab -アルツハイマー病	
その他		RG3637 / lebrikizumab -特発性肺線維症 CIM331 -アトピー性皮膚炎★ URC102 (韓国) -痛風 ACE910 / RG6013 -血友病A (PI/II)	RG3637 / lebrikizumab -気管支喘息	

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています

オレンジ：自社品

★：2015/1/28からの変更点

★：中外主導の国際共同治験 13

## 開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



## 開発の状況

導入品

## RG7204 / ゼルボラフ®

*BRAF* 遺伝子変異を有する根治切除不能な悪性黒色腫

2015年2月 発売

導入品

## RG484 / ボンビバ®(経口)

骨粗鬆症

2015年2月 申請

自社品

## MRA / アクテムラ®

関節リウマチ 皮下注製剤

2015年4月 台湾承認

導入品

## コペガス®

ソホスブビルとの併用によるセログループ2の  
C型慢性肝炎またはC型代償性肝硬変  
におけるウイルス血症の改善

2015年3月 承認(効能・効果追加)



## その他の進捗

導入品

### RG7446 / MPDL3280A(改変型抗PD-L1抗体)

非小細胞肺がん(一次治療)

国際共同治験(3本)への参加を決定

2015年2月

非小細胞肺がんへの投与について米国FDAが  
Breakthrough Therapyに指定(ロシュ社)

導入品

### RG435 / アバスチン®

HER2陰性の転移性乳がんを対象としたP3試験

(MERiDiAN試験)において主要評価項目を達成(ロシュ社)



## 主な学会発表



導入品

### RG484 / ボンビバ®(経口)

2015年3月: 骨粗鬆症を対象とした国内P3試験成績をWorld Congress on Osteoporosis, Osteoarthritis and Musculoskeletal Diseasesにて発表

- 主要評価項目のボンビバ®静注に対する非劣性を検証
- 安全性に新たな傾向は認められず、良好な忍容性を確認

導入品

### MultiStem®(細胞治療)

2015年4月: 虚血性脳梗塞を対象とした海外P2試験成績をThe European Stroke Organisation Conferenceにて発表(アサーシス社)

## <今後の予定>

自社品

### アレセンサ®

2015年5月: 非小細胞肺癌を対象とした海外P1/2試験成績および国内P1/2試験の最新データをAmerican Society of Clinical Oncologyにて発表予定

自社品

### ACE910

2015年6月: 血友病Aを対象とした国内P1/2試験における長期投与時の有効性および安全性データをInternational Society on Thrombosis and Haemostasisにて発表予定

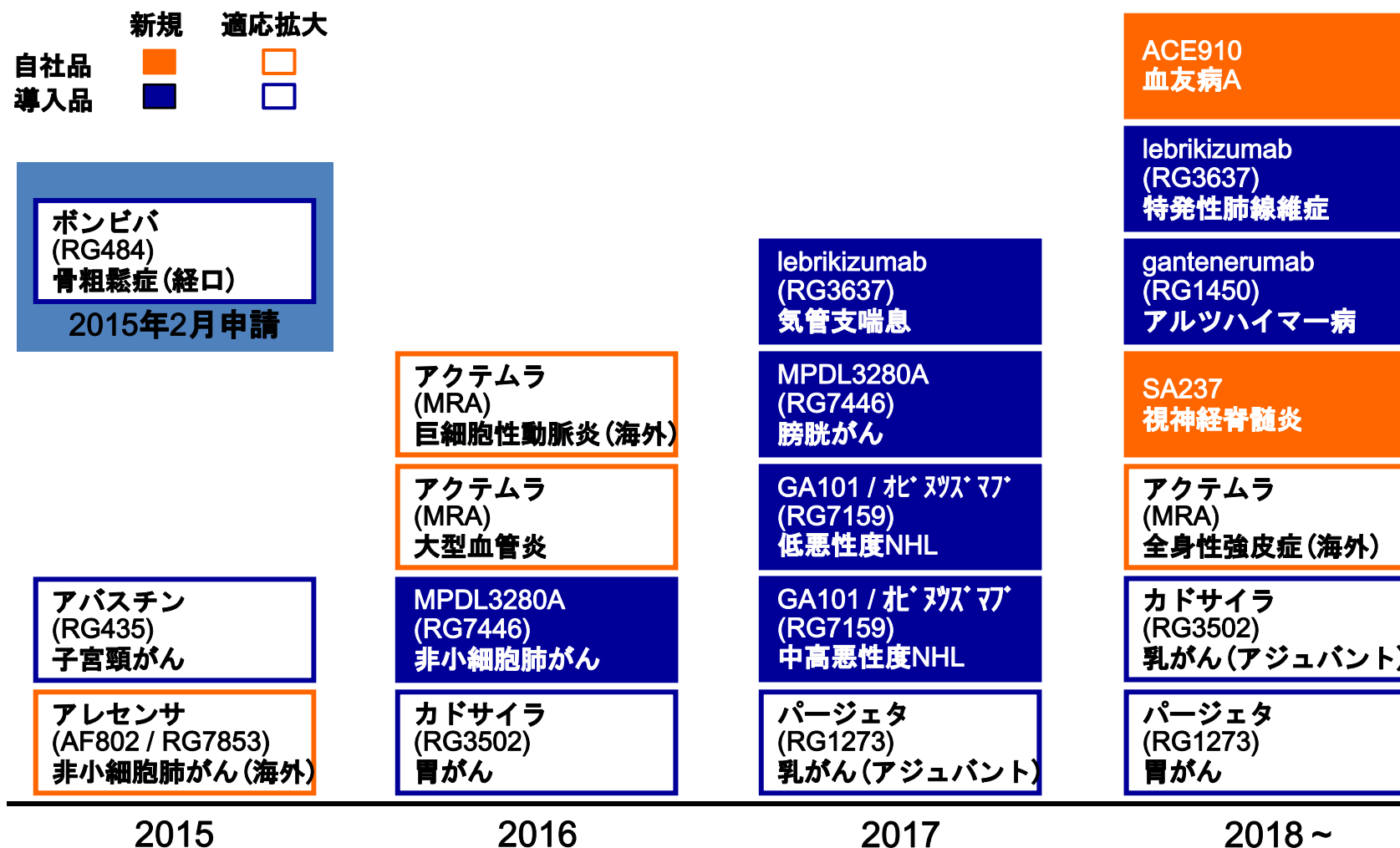
開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



## 今後の申請予定 (PoC取得済開発品・製品)

■ 引き続き毎年、新製品/適応拡大等を申請予定



# **お問い合わせ先：広報IR部**

**報道関係者の皆様：**

**メディアリレーションズグループ**

**Tel : 03-3273-0881**

**e-mail : [pr@chugai-pharm.co.jp](mailto:pr@chugai-pharm.co.jp)**

**担当：原田、荒木、吉村、三義**

**投資家の皆様：**

**インベスターリレーションズグループ**

**Tel : 03-3273-0554**

**e-mail : [ir@chugai-pharm.co.jp](mailto:ir@chugai-pharm.co.jp)**

**担当：笹井、櫻井、清水、時田**